

丸文通商株式会社

◎ 事業所概要

企業名：丸文通商株式会社
代表者氏名：取締役社長 宮本 治郎
所在地：金沢市松島1番地40
業種：医療機器・理化学機器の卸売業
労働者数：314人



◎ 行動計画

- | | |
|--------|--|
| 1 計画期間 | 平成31年4月1日～令和3年3月31日 |
| 2 内容 | |
| 目標 | ○男性社員の育児休業取得の推進（目標40%）
○幼児扶養手当増額のため2021年3月末までに制度・規程を改訂し、
第一子のみという限定をなくす。 |

◎ 認定取得に向けた取組状況

- ・ 配偶者が出産した男性社員の上司宛の、育児休業取得を勧奨する「男性の育児休暇取得について」のメールの送信や、育児休業制度や育児休業給付金に関する情報を載せた周知文書「男性育児休暇 取得促進について」の社内イントラネットへの掲載(2018年2月22日作成)、当該周知文書の4度の改訂等の取組により、行動計画期間における男性の育児休業取得率57%を達成した。
- ・ 少子化問題改善に資することを目的とし、社員やその配偶者が安心して子供を出産できるよう、幼児扶養手当受給対象者向けのヒアリング等を実施の上、当該手当の支給対象となる子の人数を1子分のみに制限する規程を撤廃し、幼児扶養手当を拡充した。
- ・ 社員に対して個別に取得勧奨のメール配信等を実施し、2020年度の年次有給休暇取得率62.9%（取得率=取得日数/年度付与日数）を達成（目標は60%）した。

企業からのひとこと

○ 行動計画に基づく取組に当たって工夫した点

男性育児休暇取得促進のため、社内イントラネットを通じた情報公開および本人・上長に男性育児休暇取得促進に関するメール送信を行い、育児休暇を取得しやすい環境づくりができた。

○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

育児休暇を取得しやすい環境があり、男性社員の育児休暇取得が増えている。それは奥さんにとっても夫の職場は、子供のため・家族のために休暇をとれる制度が整っているという、安心感を与えることに繋がっている。

また、実際の育児を行うことで、奥様の日ごろの大変さも分かり、夫婦間での理解が深まることにも繋がった。

○ 育児関連休業を取得した男性社員の声

今回、育児休業を2回に分けて取得させて頂きました。

妻にはリフレッシュのため、普段なかなか行けなかった美容院やお買い物に行ってもらい、その間、息子の食事・後片付け、おむつ替え、寝かしつけなどしました。

普段、育休中の妻に家事や育児を任せっきりで、思っていた以上にやる事が多く大変でした。育児休業のおかげで、妻の日頃の大変さを理解できました。

家族サービスをした際の妻の喜んでいる顔は今でも忘れられません。第2子に恵まれましたら、また活用したいと思います。(事務職 29歳)

私は1カ月間育児休業を取得させて頂きました。1カ月の育児休業を取っている前例が社内にはなく、取得には少し心のハードルもありましたが上司とも相談し無事取得することができました。

産後の疲れた妻の体と心を少しでも軽減するために、育休を取得いたしました。

1カ月間じっくりと育児に専念したことで、育児の大変さを理解できました。毎日何時に起きるか分からない夜泣き、いつぐずりだすかも分からないといった予測不可能な場面の連続で大変さを身に沁みました。

今後は、家事・育児を協力し、妻の体と心のケアにも力をいれていきます。

(サービス職 26歳)

第一子が生まれ、育児の大変さと楽しさに翻弄されている中、育児休業を取得させて頂きました。

次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業の取組のご紹介

全てが初めての経験の中、妻と一緒に育児ができ、楽しい思いと共に、偉大な妻の存在へ大変感謝できました。

子供の着替え、入浴、おむつ替えもマスターし、この機会に私の父としての役目を確保することができました。

これからも妻と協力し、積極的に育児を行っていきたいと思える良い機会でした。

今後も機会があれば、活用していきたいです。(営業職 28歳)